

「タグラグビー」に 挑戦してみよう!

【4・5歳児対象】

準備物

- すずらんテープ
- ラグビーボール
- 笛
- マーカーやカラーコーン 10個

3つのポイント『楽しさ』『コミュニケーション』『体力向上』

STEP 1 ボールとタグを使用する際のお約束

5分

環境構成

- 活動前にボールを準備しておく
 - ➔ お約束確認用に1つボールを持っておく
- 活動前にタグを装着し準備をする
 - ➔ すずらんテープを30cm程度に切って作っておく (人数分×2)
- 装着する際は屋内などで、落ち着いて行う

活動の進め方

- ① 子ども達へボールを見せ、興味を持ってもらう
 - ➔ 先生は「どんな形をしている?」「重さは?」「硬さは?」など声かけを行う
 - ➔ ピーナッツの様な形をしているのでボールが不規則に動く為、跳ねたボールに当たってしまうことや、ボールをお友達にぶつけると痛いということを説明する
- ② 後ほどボールを使って楽しむことを伝え、子ども達にはまだボールに触らせない
- ③ 本物のタグを使用する場合、柔らかい部分や硬い部分があることを確認する
 - ➔ 振り回して硬い部分が当たると怪我をしてしまう可能性があることを伝える
- ④ 後ほどタグを取るあそびをするため、今はタグに触らないよう伝える

STEP 2 ボールを使った準備運動

5分

ストップ&ゴー

環境構成

- 一人一人の間隔を大きく取る
- 事前に危ない箇所などにマーカーやカラーコーンなどを置き、子ども達に近づかせないようにする
- 一度に行う子どものおよそ半数の子どもにボールを渡しておく

活動の進め方

- ① ボールを持っている子ども達はゆっくり歩きながら(歩くコースは定めない)笛の合図に合わせて近くのお友達へボールを渡す
 - ➔ ぶつかったり、ころんだりしないように注意を促す
 - ➔ 笛が鳴ったら普通に手渡し、手を叩く音が聞こえたら股下から手渡しなど変化をつけて楽しむ
- ② 身体が温まったら「膝の曲げ伸ばし」「アキレス腱伸ばし」など、慣れている準備運動を行う
 - ➔ 準備運動の際に「今日は楽しくたくさん動こうね!」などと、子ども達がワクワクするよう声かけを行う。

STEP 3 導入(タグを使った氷鬼)(トライを決める突破鬼)

10~15分

タグを使った氷鬼

環境構成

- ペアでお互いのタグを引っ張り、タグが取れることを確認する

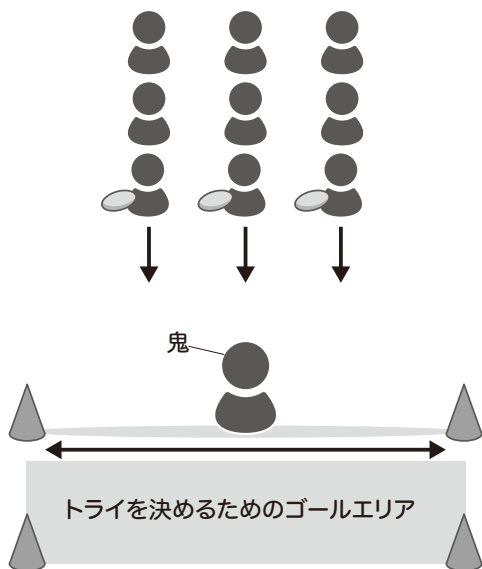
活動の進め方

- ① タグを使った氷鬼のルールを説明する
 - ➔ 鬼役を先生が行い、子ども達は鬼にタグを取られないように逃げる
 - ➔ タグを取られてしまったら、その場で動けなくなる
 - ➔ 動けなくなってしまったお友達は、逃げてお友達にタッチしてもらうことで、再び逃げるができる
- ② 実際にタグを使った氷鬼に挑戦する
 - ➔ 慣れるまでは、歩くくらいのスピードでぶつからないように逃げ、徐々にスピードを上げていく
 - ➔ 鬼はゆっくり立ち止まり、ゆっくり逆方向に動きだすなど子ども達が逃げるときに急な方向転換にならないように注意する
 - ➔ 1回1分程度で行い、休みをはさみながら、何度かタグを使った氷鬼を楽しむ
 - ➔ 様子を見ながら(スピードコントロールや危機回避がある程度できているかを判断して)鬼役を子ども達に挑戦させてもよい
- ③ タグを取られ動けなくなってしまった子どもはお友達にタグを戻してもらうことで、再び逃げるができるなどルールを変えて楽しむ
 - ➔ 鬼はタグを取ったら、地面に置いておく

トライを決める突破鬼

環境構成

- 3名1グループを作り、図のように並ぶ
- 前のグループから順にボールを配布する
- ボールを持つときのお約束(お話中はボールを手放さない、人にぶつけないなど)を伝える
- 図のようにマーカーやカラーコーンを置くなどして鬼が動けるエリアを設定しておく
- さらに鬼のうしろにマーカーやカラーコーンを置くなどしてゴールエリアを設定しておく



活動の進め方

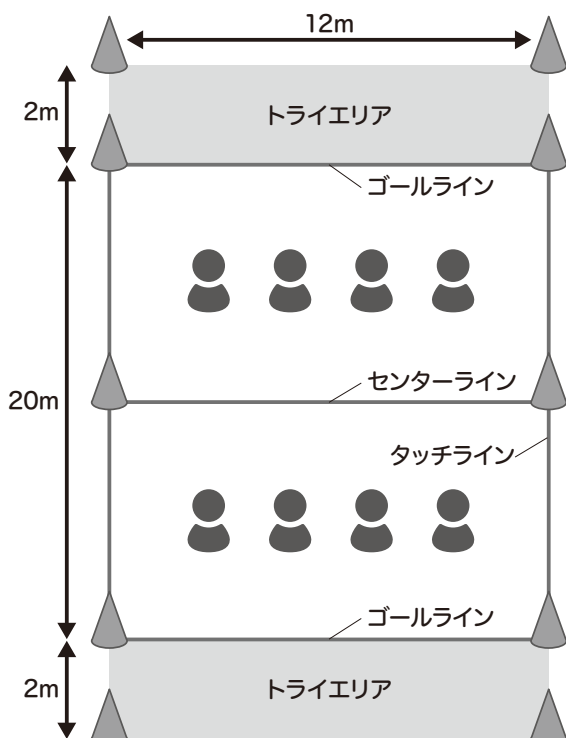
- ①トライを決める突破鬼のルールを説明する
 - ➡鬼役を先生が行い、鬼1人に対して子ども最大3名同時に行う
※例えば子ども5名同時に行う場合は鬼役2名で行う
 - ➡鬼は動けるエリアを横に移動し、子ども達がゴールエリアへ行けないよう邪魔をする
 - ➡子ども達は鬼にタッチされてしまわないよう通り抜けて、ゴールエリアにトライを決める
 - ➡トライを決める際に、「トライ!」と試みるよう声かけをする
 - ➡タッチをされてしまったらスタート地点に戻ってやりなおし
 - ➡グループ全員がトライできるよう、先にトライを決めた子ども達はゴールエリア横から応援する
 - ➡グループ全員がトライを決めたら、スタートラインに戻り、先頭グループにボールを渡して列の一番後ろに並ぶ
- ②実際に先生がトライの見本を見せる
- ③実際にトライを決める突破鬼に挑戦する
 - ➡トライを決めた後は「勇気を出してよく通り抜けたね!」など、子どもなりにチャレンジした過程を褒める

STEP 4 実際のタグラグビーに挑戦!

20~25分

環境構成

- 図のようにタグラグビーコートにマーカーやカラーコーンでつくる
- 子ども達4人で1チームをつくる



※コートの広さは活動場所の広さによって変えてもよい

活動の進め方

- ①タグラグビーのルールを説明する
 - ➡基本的なルールは(公財)日本ラグビーフットボール協会オフィシャルルールに準拠する
URL:<https://www.tagrugby-japan.jp/education/05.html>
 - タグラグビー 基本的ルール 検索
 - ➡基本的なルールはあるが、プレーに慣れていかないと理解しづらいルールもあるので、ルールに縛られずにまずは子ども達みんなが楽しむことが重要であることを伝える
 - 例) ノックオン
キャッチミスで前方にボールを落としてしまっても慣れるまでは反則にせずプレーを続ける
ただし、地面にあるボールに対して飛び込むようなプレーは大変危険なので、ボールを立ったまま拾うよう注意を促す
 - 例) スローフォワード
ボールを前にパスをしてしまっても慣れるまでは反則にせずプレーを続ける
 - 例) オーバーステップ
タグを取られたら、取られた場所に一度戻ってから再開するなど子ども達に分かりやすいルールにする
 - ➡タグを取るときは「タグ!」と大きな声で言い、タグを返すときは優しく丁寧に返してあげ、返された子どもは「ありがとう!」ときちんと言い、お互いハイタッチをすることをルールとする
 - ➡今までの活動同様「ぶつからない」「ころばない」ように注意を促す
 - ➡「ノーサイドの精神」をしっかり子ども達に伝える
相手チームは「敵」ではなく「仲間」であり、ゲームが終わったら、しっかり握手をして「楽しかったね」と笑顔で終わることを伝える
- ②実際にタグラグビーに挑戦する